

ジェイアールバス東北本部

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-4-3 JR東労組仙台地方本部内

NTT:022-297-0155 JR:031-3981~3983

発責：佐藤 秀一 編集：情宣部

第22号 2024年3月14日

申5号「2024年度賃金引上げ等に関する申し入れ」趣旨説明を行う！

ジェイアールバス東北本部は、3月14日、申5号「2024年度賃金引上げ等に関する申し入れ」趣旨説明を行いました。主な交渉内容は以下の通りです。



満額回答！！

組合

- ・会社の経営状況は、コスト削減などによる高い利益率を維持継続してきたことにより、2023年度においても堅調な経営状況となっている。
- ・物価上昇による厳しい生活から、大幅な賃金の引き上げを求める声が多く寄せられている。
- ・一方で、離職者が後を絶たないことによる「人材確保」の必要性を訴える声も非常に多い。
- ・離職等による深刻な要員不足の状況の中、組合員・社員は助勤や休日勤務など過去最高の働き度である。
- ・乗務員不足というバス業界全体の問題は、バス運転者の取り合いとなっており、会社が持続的に成長していくためには、人材確保・定着が課題であり「人への投資」が必要不可欠である。

会社

- ・2023年度は社員の皆さまの安全安定輸送、経費削減、サービス向上、業務改善に取り組みに感謝申し上げます。要員不足の中、助勤協力、年末年始輸送、列車代行輸送の完遂などに感謝する。
- ・社員の皆さまの努力に対し最大限の回答をすることに変わりはない。
- ・基準内賃金であることから長期的に考えなければならない。採用にかかわる反面、将来にもかかわるので、収支を見据えて回答する。
- ・4月1日からの社員化で1,200万の費用が増えるが、社員に報いるとともに採用につなげていく。
- ・2年連続の黒字の見込みであるが中身を見ると、上期は好調だったが月次決算の1月2月は赤字であり、年末年始輸送の実績から他社との競争がうかがえる。
- ・経費面では、コロナ禍で控えていたバスの購入をしなければならないので、減価償却費が増える。賃金の他にも制服などの労働条件向上も行う。
- ・黒字といえども基盤は弱い。これからも無駄はやめて必要なものやっていく。社内で総合的に考え、最大限の回答をする。

組合員とその家族の生活を守るため、 24春闘勝利に向けたたたかいをつくり出そう！！